

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-1-2

事務事業名	医療(入院・外来・各種健診・交通事故保険)収入受入事務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

入院・外来患者の診察料、各種健診料、交通事故診療等の銀行振り込み入金処理業務。未収金対策と今後の実績管理を行う必要があり、現状の把握に努める。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状維持

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
人工数(業務量)		人工	0.1291	0.1878	0.2188	0.1923			
人件費計(B)		円	1,004,342	1,464,416	1,754,089	1,526,728			
トータルコスト(A+B)		円	1,004,342	1,464,416	1,754,089	1,526,728			

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-1-2

事務事業名	医療案内作成・掲示事務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院の経営安定化		公約達成年次 2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

医師の出張等による休診及び外来医師名変更の外来患者用の院内掲示。耳鼻科の月別医師予定表の作成、関係部署への配布及び院内掲示。患者配布用各診療科の外来診療及び医師予定表の作成。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

他係と業務重複しているため2020年度で業務廃止予定

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
人工数(業務量)		人工	0.0441	0.0523	0.0483	0.0389			
人件費計(B)		円	343,079	407,577	387,291	309,111			
トータルコスト(A+B)		円	343,079	407,577	387,291	309,111			

事務事業名	医療業務委託事業	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 受付、会計、入院・外来精算、電話交換、用度等の専門業務を取り扱う。
2. 対象(何を対象にしているか) 入院患者、外来患者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 個々の受診者の状況を把握し、受付、会計、入院・外来精算を円滑に図る。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 受付、会計、入院・外来精算を円滑に図ることができる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	入院患者数	人
②	外来患者数	人
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	入院患者数	人
②	外来患者数	人
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	入院患者数	人
②	外来患者数	人
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
②	患者数(外来)	人
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	62,226,867	59,353,168	56,661,034	56,661,034	56,661,034	56,661,034
	事業費計(A)	円	62,226,867	59,353,168	56,661,034	56,661,034	56,661,034	56,661,034
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
	人工数(業務量)	人工	0.3564	0.3280	0.4214	2.1565		
	人件費計(B)	円	2,772,637	2,557,974	3,379,159	17,116,872		
	トータルコスト(A+B)	円	64,999,504	61,911,142	60,040,193	73,777,906		
活動指標	①	人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	②	人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105
	③							
対象指標	①	人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	②	人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105
	③							
成果指標	①	人	33,498	30,670	34,221	34,221	34,221	34,221
	②	人	74,477	67,471	72,105	72,105	72,105	72,105
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>2020年度より医事業務委託の業者選定及び会計年度職員の採用を行い、業務の分化、委託料の縮小を行った。専門の職員配置によりマネジメントも可能となったものの、人員の入れ替わりが多い部署については、安定的な業務遂行のため外部委託継続とした。今後すべての部署を会計年度職員へと転換するにあたり、業務の安定性を重視したものにしていかなければならない。業務委託にあたり、現場管理者の交代もありコミュニケーション不足があり、2021年度より外部委託を含めたミーティングを開催し、より円滑な業務遂行となるよう、コミュニケーションをとっていく。</p>	<p>2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法)</p> <p>入院算定者として会計年度任用を採用しており、今後はより算定能力の向上と診療報酬制請求業務を一任して実施させることで、医事係正職員の業務負担軽減を行っていく。</p>
--	--

事務事業名	医療事務システム(受付再来・会計・精算)維持 管理事務	所属 部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成 年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 医療事務機器及びシステムの不具合への対応
2. 対象(何を対象にしているか) 院内の医事コンピュータ機器、システム
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 支障なく日常業務で使用できる性能を維持する
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安定的な業務の継続

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 委託件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 管理しているコンピュータの台数	台
② 管理しているシステム数	件
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 受診者に影響を与えた障害発生件数	件
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,359,800	2,570,400	2,381,650	2,381,650	2,381,650	2,381,650
	事業費計(A)	円	2,359,800	2,570,400	2,381,650	2,381,650	2,381,650	2,381,650
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
	人工数(業務量)	人工	0.3481	0.3739	0.2530	0.2588		
	人件費計(B)	円	2,708,067	2,915,947	2,028,659	2,054,124		
	トータルコスト(A+B)	円	5,067,867	5,486,347	4,410,309	4,435,774		
活動指標	①	件	5	5	5	5	5	5
	②							
	③							
対象指標	①	台	19	19	19	19	19	19
	②	件	19	19	19	19	19	19
	③							
成果指標	①	件	1	1	0	0	0	0
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 2021年度機構改革に伴い、システム管理についてはシステム管理室へ移行となる。 自動再来受付機の保守のみ医事係での実施を行うが、2021年度よりSE(派遣)を導入したためシステム管理業務の全てを移行していくよう働きかける。	2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法) 医事係としての維持管理は2020年度末にて終了し、2022年度に廃止とする。
---	---

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-1-2

事務事業名	介護保険医師意見書等発行事業	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

介護保険の認定を希望する患者から(市町村介護保険担当)医師意見書の交付依頼を受け、医師に介護保険主治医意見書の記載を依頼し、記載後介護保険主治医意見書を発行する。その後、主治医意見書の請求書を発行する。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

医師の負担軽減を図るために、医師事務作業補助者(会計年度任用職員)を採用し、介護保険主治医意見書等書類業務を代行に向けて業務移行中である。職員業務縮小にて2020年度で事業廃止予定。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0
投入量	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6
		人工数(業務量)	人工	0.3991	0.4510	0.4925	0.4530	
		人件費計(B)	円	3,104,824	3,516,846	3,949,086	3,595,580	
		トータルコスト(A+B)	円	3,104,824	3,516,846	3,949,086	3,595,580	

事務事業名	各種健診等実施事務(受託)	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院の経営の安定化	公約達成年次	2021

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 芽室町や他市町村及び各事業者等の要請を受け、各種健診業務を実施している。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 健診業務により対象者は異なる。特定健診(40歳以上)・すこやか健診35歳以上(町民)。教職員健康診断⇒町内小中学校に勤務する教職員。役場職員人間ドック⇒役場に勤務する30歳代(隔年)及び40歳以上(毎年)の職員。</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 各種健診を実施し、個々の受診者の健康状況を把握し、病気を早期に発見し、治療に当たり健康の回復を図る。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 病気を早期に発見し、適切な治療を行い健康の回復を図る。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① すこやか受診対象人員(35歳以上)	人
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① すこやか健診受診者数	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① すこやか健診受診者の事後指導数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① すこやか受診比率(受診者/受診対象者)	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,929,640	3,173,700	3,165,400	3,165,400	3,165,400	3,165,400
	事業費計(A)	円	2,929,640	3,173,700	3,165,400	3,165,400	3,165,400	3,165,400
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.9997	0.9944	0.9979	0.8084		
	人件費計(B)	円	7,777,231	7,754,504	8,001,610	6,416,355		
	トータルコスト(A+B)	円	10,706,871	10,928,204	11,167,010	9,581,755		
活動指標	①	人	12,794	12,819	12,824	12,783	12,783	12,783
	②							
	③							
対象指標	①	人	550	533	513	387	711	711
	②							
	③							
成果指標	①	人	258	275	253	166	250	250
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	4.3	4.2	4.0	3.0	5.5	5.5
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 芽室町が町民の健康状態を把握し、病気の早期発見に取り組む政策的事業として開始された。平成20年度から国の制度改正(40歳以上対象)により、特定健診が保険者の義務付けとなり、特定健診又は「従来のすこやか健診」(特定健診項目を含む)を実施することとなった。 1日の受診者は、従来のすこやか健診(9人まで)と特定健診(3人まで)の2本立てで実施。請求・健診結果等を媒体で国保連合会等に送付する必要があるため、システムの導入が必要となった。また、新たに受診結果に基づき病院保健師等による保健指導を実施することとなった。 新聞・広報・病院HPなどで芽室町民に周知している。</p>	<p>2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法) 今年度も周知徹底をおこない、申込方法の多様化・簡略化をはかる。また、オプション検査を増やし、健診希望者のニーズに応え、健診受診者希望数を増やしていきたい。その結果、病気を早期に発見し、適切な治療を行い健康の回復を図る。</p>
--	--

事務事業名	患者負担未収金徴収事務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 未納者実態調査
2. 対象(何を対象にしているか) 医療費等の未納者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 医療費等の負担の公平性を図り、患者負担の理解と未収金予防を推進する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 医療費負担の公平性を図り、病院の経営安定化に結びつける。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 未収金督促件数(法律事務所含む)	件
② 電話督促・個別訪問	件
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 未収金額(年度当初)	円
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 医療費収入金額(年度末)	円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対して満足している町民の割合	%
② 患者数(外来)	人
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	143,827	52,488	236,000	236,000	236,000	236,000
	事業費計(A)	円	143,827	52,488	236,000	236,000	236,000	236,000
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6
	人工数(業務量)	人工	0.0154	0.0419		0.0415		
	人件費計(B)	円	119,805	326,972	0	329,403		
	トータルコスト(A+B)	円	263,632	379,460	236,000	565,403		
活動指標	①	件	77	73	70	70	70	70
	②	件	24	35	30	30	30	30
	③							
対象指標	①	円	19,765,857	14,807,344	8,913,208	8,443,765	8,357,794	8,351,122
	②							
	③							
成果指標	①	円	11,289,777	7,160,638	1,669,443	1,585,971	1,506,672	1,431,338
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.6	34.2	-	-	-	-
	②	人	-	-	70,000	70,000	70,000	70,000
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 長期に慢性化した医療費滞納患者へのアプローチの仕方を再検討する必要がある。 法律事務所との折衝も行い、より強い未収金回収を要請する。	2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法) 令和3年4月の例月出納検査にて、過年度未収金については後は整理を行い、回収の収益と見合わない未収金については不納欠損処理を進めていく。 法律事務所による債権回収と並行し、再度未収金伝票の内容精査と未納金回収業務に関するマニュアル・ルールの見直しを行い、請求に関する期間の再設定による請求回数増と請求方法の統一化を実施し、収納率上昇を図る。
--	---

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-1-2

事務事業名	診療情報管理業務	所属部門	公立芽室病院 医事係
町長公約	公立芽室病院経営の安定化	公約達成年次	2021年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

診療記録の保管管理、診療情報の提供、疾病統計の作成、退院時要約の管理、退院時のDPCデータ作成・提出、がん患者情報の作成・提出を診療情報管理士が実施している。2年毎の診療報酬改定に伴うDPCデータ作成要領変更やがん登録における各臓器がん取り扱い規約改訂などにより、医療的な専門性や業務量が増加している。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

診療情報管理業務は、急性期一般入院料及び地域包括ケア入院医療管理料を維持するための必須条件であり、診療録管理に関する加算の算定上、施設基準上必須となっており、業務の質及び量はますます増えていくため縮小できない。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0
投入量	人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.9032	0.8273	0.8559	0.8358	
		人件費計(B)	円	7,026,503	6,451,395	6,863,103	6,633,753	
		トータルコスト(A+B)	円	7,026,503	6,451,395	6,863,103	6,633,753	